



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東
コード番号 6047 URL <https://gunosy.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹谷 祐哉
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 岩瀬 辰幸 (TEL) (03)5953-8030
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	1,880	△2.4	△185	—	△525	—	△714	—
2023年5月期第1四半期	1,927	△15.4	△83	—	△628	—	384	—

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 △367百万円 (—%) 2023年5月期第1四半期 812百万円 (212.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	△29.74	—
2023年5月期第1四半期	16.06	16.05

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	11,936	—	10,504	—	87.4	—
2023年5月期	12,324	—	10,857	—	87.5	—

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 10,430百万円 2023年5月期 10,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,880	△2.1	△500	—	△999	—	△1,070	—	△44.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	24,237,774株	2023年5月期	24,237,774株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	213,744株	2023年5月期	222,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	24,016,575株	2023年5月期1Q	23,917,852株

（注）自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2023年5月期：99,792株、2024年5月期1Q：91,092株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2022年に77.3%と前年比3ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き普及拡大しており（総務省調べ）、また、2022年の広告費は前年比104.4%の7兆1,021億円と、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、通年で過去最高額となりました。その中でも、社会のデジタル化を背景に好調なインターネット広告費が市場の成長へ寄与しており、前年比114.3%の3兆912億円と、2兆円を超えた2019年からわずか3年で約1兆円の増額となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、既存のメディア事業においては「グノシー」の収益性の向上及びKDDI株式会社との協業アプリである「auサービスToday」「ニュースパス」の同社との連携強化による成長実現に注力しております。「グノシー」については、社会のインフラとなるような新しい時代のニュースメディアを目指し、社会的価値の高い「知っておくとよい情報」、個人的価値の高い「知りたい情報」の最適な配信の実現に向けた施策に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度の方針通り、「グノシー」の再成長に向けて、投資対効果を踏まえながら広告宣伝投資を行いました。広告宣伝投資により、新規ユーザーは想定通り増加したほか、前連結会計年度から取り組みを続けていた、ユーザーの継続率改善施策が着実に成果を上げていることから、前年同期比で106%のユーザー増を実現することができました。一方で、ユーザーあたり収益性については、足元での広告市況全体の弱含みの影響もあり、前年同期比で93%での着地となりました。これらの状況をふまえ第2四半期以降において、収益性については広告市況の弱含み等により想定よりも不確実性が高まっていると判断し、広告宣伝投資においては投資対効果の基準を引き上げ投資を実施してまいります。また、広告審査については引き続き厳格に行い、ユーザーの皆様が安心してご利用いただけるような広告体験の実現に注力しております。

新規事業においては、引き続き社内/社外への成長機会への投資を行ってまいりました。当第1四半期連結累計期間においては、大規模言語モデル“LLM”を活用した事業の創出に積極的に取り組んでおり、2023年11月には、ChatGPTを活用した業務支援特化の生成AIサービスである、「ウデキキ」をリリース予定となります。こちらを軸に、LLMの活用に課題を抱えている企業へ、LLMの実務への導入支援を進めてまいります。そのほか、ムードペアリングブランド「YOU IN」においては、マクロ環境を踏まえた価格改定及び商品ラインナップ拡充の影響により、顧客単価が向上しました。

当社の持分法適用関連会社であるGaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.（以下、GaragePreneurs）においては、インド準備銀行（RBI）公表のDigital Lending Guidelinesに準拠した新プロダクトの提供を2022年12月より開始してから、主要KPIである貸出残高は順調に推移いたしました。2023年9月にはPPIライセンスを取得したことによりデジタルカード発行の再開および新機能をリリースし、ユーザーの決済体験をアップデートしております。また、GaragePreneursはNorth East Small Finance Bank Ltd.（以下、NESFB）との戦略的なパートナーシップを構築するために、これまでにNESFBに対する複数回の出資を通じて、同社の株式を10%取得しておりましたが、この度、GaragePreneursはNESFBとの戦略的パートナーシップの強化のために、同社との合併に関するRBIの同意を得ました。同意に基づき、今後GaragePreneursは合併の法的効力発生に向けた各種の手続を開始し、それらが全て完了した場合、近い将来、NESFBとの合併が実現することとなります。

収益面に関しては、当第1四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を1,018百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高においては、厳格な広告審査を継続する中、当第1四半期連結累計期間で110百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、「グノシー」の再成長に向けた広告宣伝投資を継続した結果、広告宣伝費317百万円（前年同四半期比60.7%増）を計上するほか、アドネットワークに係る売上高の減少に伴い媒体費が減少いたしました。

その他、持分法適用関連会社であるGaragePreneursに関して持分法による投資損失337百万円を計上し、特別損失に投資有価証券評価損165百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,880百万円（前年同四半期比2.4%減）、経常損失525百万円（前年同四半期は経常損失628百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失714百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益384百万円）となりました。

なお、「グノシー」「ニュースパス」及び「auサービスToday」合計の国内累計DL数は当第1四半期連結会計期間末において6,674万DLとなり、前連結会計年度末比で129万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて387百万円減少し、11,936百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比69百万円の減少）、売掛金の増加（前連結会計年度末比52百万円の増加）、流動資産のその他の減少（前連結会計年度末比203百万円の減少）、投資有価証券の減少（前連結会計年度末比173百万円の減少）であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて34百万円減少し、1,432百万円となりました。主な要因は、未払金の増加（前連結会計年度末比67百万円の増加）、前受金の減少（前連結会計年度末比68百万円の減少）、流動負債のその他の減少（前連結会計年度末比62百万円の減少）であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて353百万円減少し、10,504百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（前連結会計年度末比714百万円の減少）、為替換算調整勘定の増加（前連結会計年度末比277百万円の増加）であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月14日に公表いたしました2024年5月期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第1四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、1DLあたりの獲得費用、新規DL数についてそれぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、「グノシー」への広告宣伝投資を投資対効果を踏まえつつ実施したことと、前連結会計年度より取り組みを進めていた継続率の改善により、ユーザー数が計画を上回る水準で推移しており、新規ユーザーの割合についても堅調に推移しております。一方でユーザーあたり収益性の低下が課題となっており、改善に向けた各種施策に取り組んでおります。

費用につきましては、投資対効果を加味しながら広告宣伝投資を実施した結果、広告宣伝費317百万円（前年同四半期比60.7%増）など、販売管理費が増加いたしました。また、アドネットワークに係る売上高の減少を受け、アドネットワークに係る原価が減少いたしました。

今後につきましては、「グノシー」においてはプロダクトの更なる磨き込みを進めていきつつ、課題であるユーザーあたり収益性の改善に取り組んでまいります。なお、広告宣伝費については、収益性の改善状況や広告市場の動向を鑑みて投資基準を引き上げ投資を抑制し、事業としての収益安定化を目指します。また、KDDI株式会社と協同で、「auサービスToday」の利用ユーザー増加に向けた各種施策を実施してまいります。連結子会社である株式会社ゲームエイトにおいては、ゲーム攻略メディア「game8.jp（ゲームエイト）」の盤石化に伴う人材投資等を進めながらも、新たな成長ドライバーの獲得に向けた新規事業の推進等を進めてまいります。また、新規事業では、“LLM”を活用したサービスである「ウデキキ」の立ち上げを進めてまいります。その他、ムードペアリングブランド「YOU IN」の販路拡大を推進するほか、非連続的な成長に向け、社外の有望なスタートアップ企業に対する投資やM&Aにも取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,925	5,855
売掛金	669	722
その他	677	473
流動資産合計	7,272	7,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8	8
その他（純額）	4	4
有形固定資産合計	12	12
無形固定資産		
のれん	40	34
その他	0	0
無形固定資産合計	40	34
投資その他の資産		
投資有価証券	4,940	4,766
繰延税金資産	18	31
その他	39	39
投資その他の資産合計	4,998	4,837
固定資産合計	5,051	4,884
資産合計	12,324	11,936

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	421	430
未払金	325	393
未払法人税等	42	43
前受金	466	398
ポイント引当金	0	0
株式給付引当金	9	1
賞与引当金	—	8
その他	172	110
流動負債合計	1,438	1,386
固定負債		
株式給付引当金	9	13
繰延税金負債	19	32
固定負債合計	28	46
負債合計	1,466	1,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099	4,099
資本剰余金	4,099	4,099
利益剰余金	2,478	1,764
自己株式	△307	△298
株主資本合計	10,369	9,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	52
繰延ヘッジ損益	90	124
為替換算調整勘定	311	588
その他の包括利益累計額合計	419	766
新株予約権	68	73
純資産合計	10,857	10,504
負債純資産合計	12,324	11,936

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,927	1,880
売上原価	1,192	1,194
売上総利益	734	686
販売費及び一般管理費	817	871
営業損失(△)	△83	△185
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	14	6
その他	0	0
営業外収益合計	15	8
営業外費用		
支払手数料	4	2
投資事業組合運用損	7	8
持分法による投資損失	549	337
その他	0	—
営業外費用合計	561	348
経常損失(△)	△628	△525
特別利益		
持分変動利益	1,001	—
特別利益合計	1,001	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	165
特別損失合計	—	165
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	372	△690
法人税、住民税及び事業税	12	34
法人税等調整額	△17	△11
法人税等合計	△4	23
四半期純利益又は四半期純損失(△)	377	△714
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	384	△714

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	377	△714
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	36
繰延ヘッジ損益	110	34
為替換算調整勘定	2	—
持分法適用会社に対する持分相当額	289	277
その他の包括利益合計	434	347
四半期包括利益	812	△367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	818	△367
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年8月31日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(持分法適用関連会社の合併)

当社の持分法適用関連会社である GaragePreneurs Internet Pvt. Ltd. (本社:インド共和国、代表者:Rajan Bajaj、以下 GaragePreneurs) が、North East Small Finance Bank Ltd. (本社:インド共和国、代表者:Rupali Kalita、以下 NESFB) との合併について、2023年9月28日にインド準備銀行(以下 RBI)より同意を取得しました。なお、今後、GaragePreneursは合併の法的効力発生に向けた各種の手続を開始しますが、合併が完了するためには、インド会社法上で必要とされる株主の同意及びRBI以外の必要とされる規制当局の承認の取得等が必要となり、具体的な日程や条件等の詳細は現段階では未定であります。

1. 本件合併の目的

GaragePreneursはNESFBとの戦略的なパートナーシップを強めるために、これまでもNESFBに対する複数回の出資を通じて、同社の株式を10%取得しておりました。

本戦略的提携は「slice」の提供を通じてGaragePreneursが培ってきた先進的なデジタル技術と、NESFBの顧客基盤及び銀行業のライセンスに基づく多様なサービスラインナップが融合することで、より多くの顧客に金融サービスへのアクセスと優れたデジタルバンキング体験を提供することを可能とするものです。これは、包摂的なデジタル金融体験を促進するためのRBIの一貫した取り組みを支持するものであり、インドのデジタル金融インフラの発展をさらに推進することが期待されます。

2. GaragePreneurs Internet Pvt. Ltd. の概要

- (1) 名称 GaragePreneurs Internet Pvt. Ltd.
- (2) 所在地 747, Pooja Building, 80ft Road, 4th Block, Koramangala, Bangalore - 560034, India
- (3) 代表者の役職・氏名 Rajan Bajaj (創業者)
- (4) 事業内容 デジタルクレジットサービスの提供

3. North East Small Finance Bank Ltd. の概要

- (1) 名称 North East Small Finance Bank Ltd.
- (2) 所在地 1st & 3rd Floor, Fortune Central, Basisthapur, Bye lane 3, Beltola Guwahati, Assam 781028, India
- (3) 代表者の役職・氏名 Rupali Kalita (Managing Director & CEO)
- (4) 事業内容 バンキングサービス
- (5) 資本金 3,468百万インドルピー(2023年6月26日現在)